

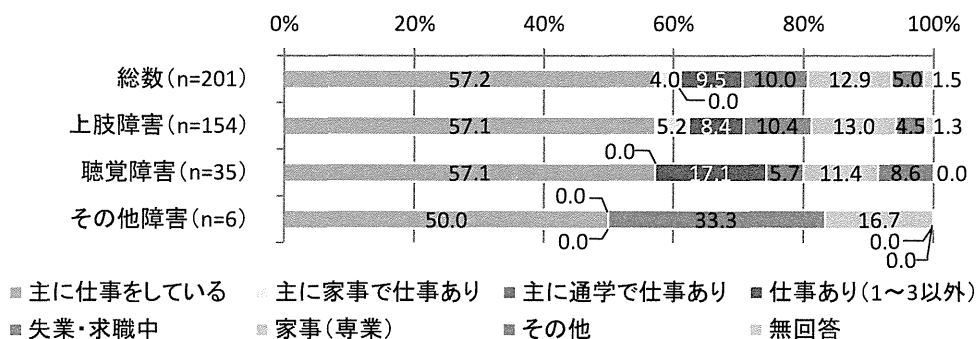
## 6. 仕事の状況

### (1) 6月中の仕事の状況

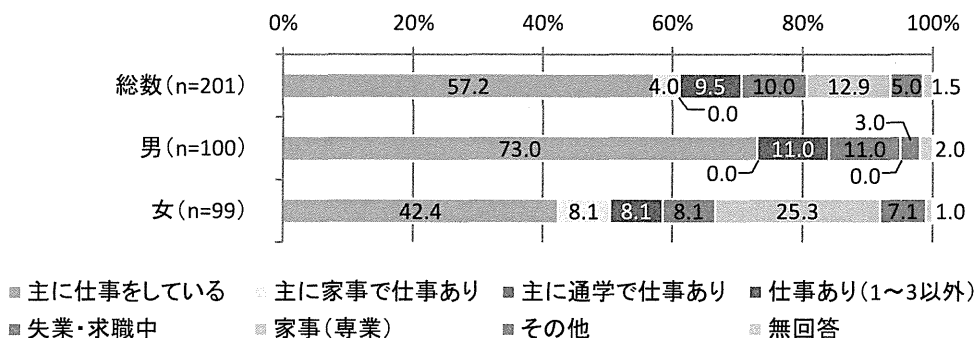
問1 あなたの6月中の仕事の状況について記入してください。

- 6月中の仕事の状況について、全体で見ると、「主に仕事をしている」が57.2%と最も多く、次いで「家事（専業）」が12.9%、「失業・求職中」が10.0%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「主に仕事をしている」が57.1%と最も多く、次いで「家事（専業）」が13.0%、「失業・求職中」が10.4%である。聴覚障害は「主に仕事をしている」が57.1%と最も多く、次いで「仕事あり（1～3以外）」が17.1%、「家事（専業）」が11.4%である。その他障害は「主に仕事をしている」が50.0%と最も多く、次いで「失業・求職中」が10.4%、「家事（専業）」が16.7%である。
- 性別で見ると、男性は「主に仕事をしている」が73.0%と最も多く、次いで「仕事あり（1～3以外）」と「失業・求職中」がそれぞれ11.0%である。女性は「主に仕事をしている」が42.4%と最も多く、次いで「家事（専業）」が25.3%、「主に家事で仕事あり」と「仕事あり（1～3以外）」と「失業・求職中」がそれぞれ8.1%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「主に仕事をしている」が60.0%と最も多く、次いで「仕事あり（1～3以外）」が13.3%、「失業・求職中」が10.0%である。親とのみ同居世帯は「主に仕事をしている」が57.8%と最も多く、次いで「失業・求職中」が20.0%、「その他」が13.3%である。その他世帯は「主に仕事をしている」が56.5%と最も多く、次いで「家事（専業）」が16.9%、「仕事あり（1～3以外）」が10.5%である。

図表 217 6月中の仕事の状況；障害種別

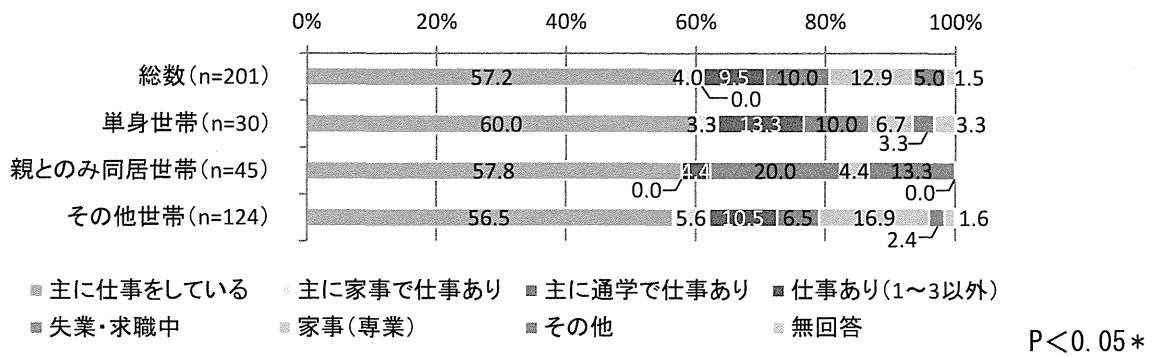


図表 218 6月中の仕事の状況；性別



P<0.01 \*\*

図表 219 6月中の仕事の状況；世帯類型別



図表 220 6月中の仕事の状況；7. その他

・母の手伝い
・仕事はできない、していない
・休職中
・何もしていない
・障害者支援施設への通所
・就業不可の健康状態
・休職中
・ネット販売

## ①仕事をした日数

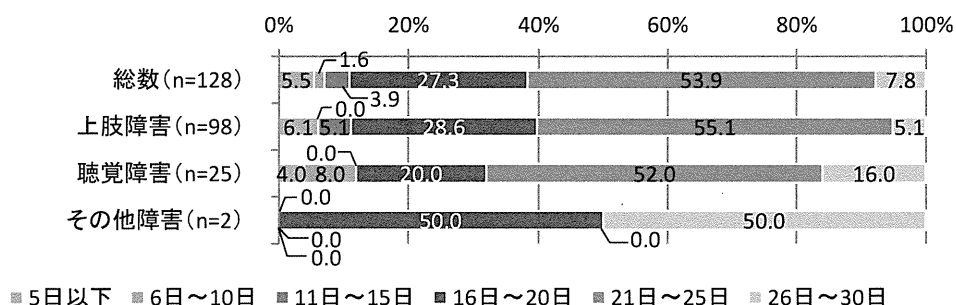
【「1～4仕事あり」と答えた方にかがいます。】

(1) おおむねこの1ヶ月間の仕事をした日数を記入してください。

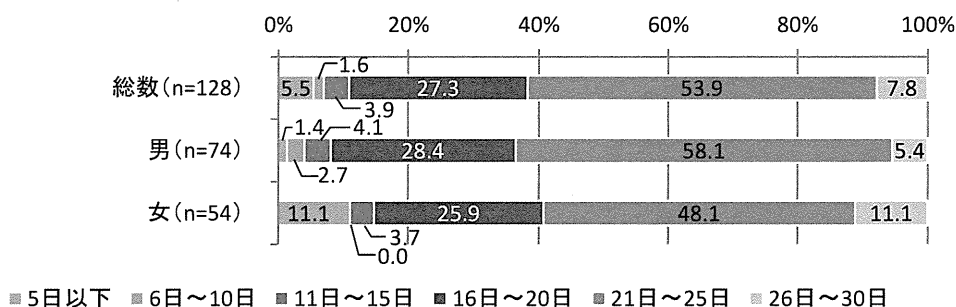
※複数の仕事をした場合は、すべての合計を記入してください。

- おおむねこの1ヶ月間に仕事をした日数について、全体で見ると、「21日～25日」が53.9%と最も多く、次いで「16日～20日」が27.3%、「26日～30日」が7.8%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「21日～25日」が55.1%と最も多く、次いで「16日～20日」が28.6%、「5日以下」が6.1%である。聴覚障害は「21日～25日」が52.0%と最も多く、次いで「16日～20日」が20.0%、「26日～30日」が16.0%である。
- 性別で見ると、男性は「21日～25日」が58.1%と最も多く、次いで「16日～20日」が28.4%、「26日～30日」が5.4%である。女性は「21日～25日」が48.1%、次いで「16日～20日」が25.9%、「5日以下」と「26日～30日」がそれぞれ11.1%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「21日～25日」が57.1%と最も多く、次いで「16日～20日」が23.8%、「26日～30日」が9.5%である。親とのみ同居世帯は「21日～25日」が56.0%と最も多く、次いで「16日～20日」が32.0%、「26日～30日」が8.0%である。その他世帯は「21日～25日」が53.1%、次いで「16日～20日」が27.2%、「11日～15日」と「26日～30日」がそれぞれ6.2%である。

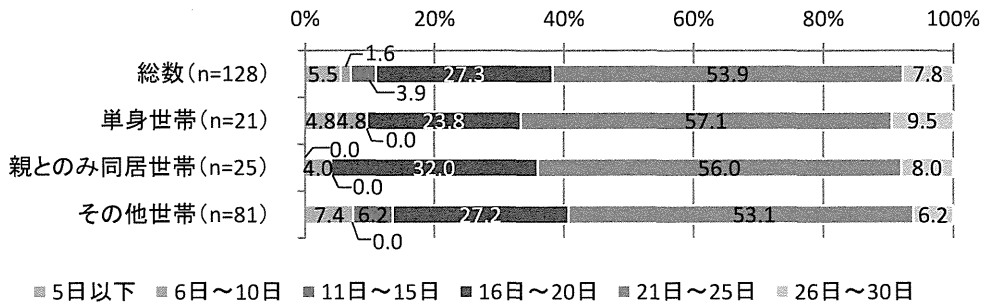
図表 221 1ヶ月間に仕事をした日数；障害種別



図表 222 1ヶ月間に仕事をした日数；性別



図表 223 1ヶ月間に仕事をした日数；世帯類型別

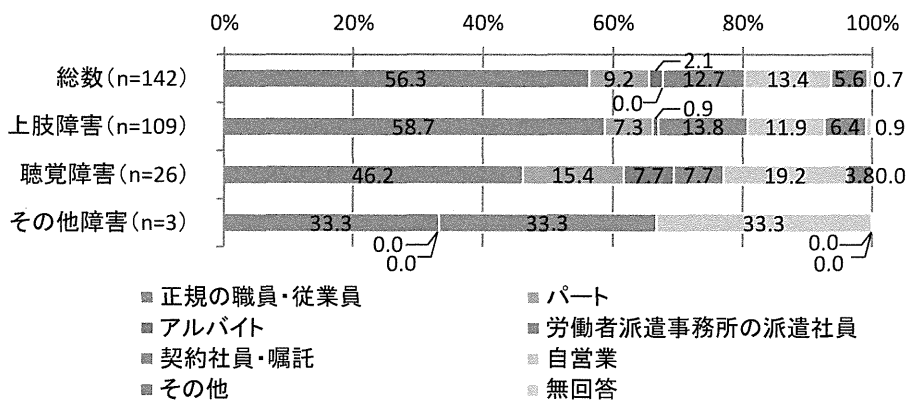


## ②主な仕事の就業形態

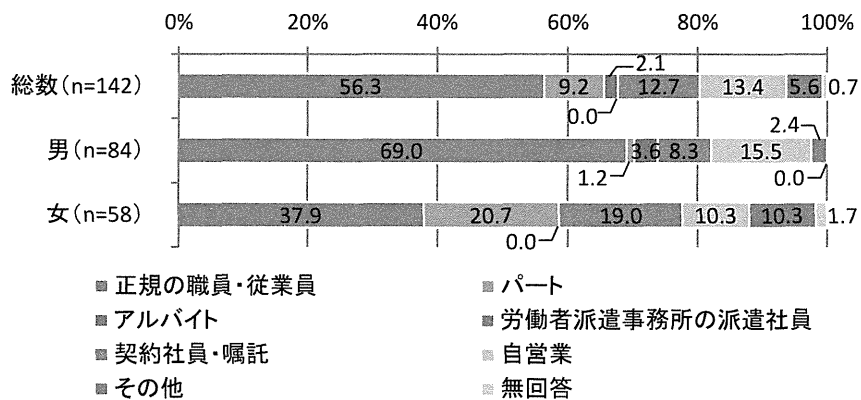
(2) 主な仕事について、勤めか自営かについて記入してください。

- 主な仕事の就業形態について、全体で見ると、「正規の職員・従業員」が 56.3%と最も多く、次いで「自営業」が 13.4%、「契約社員・嘱託」が 12.7%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「正規の職員・従業員」が 58.7%と最も多く、次いで「契約社員・嘱託」が 13.8%、「自営業」が 11.9%である。聴覚障害は「正規の職員・従業員」が 46.2%と最も多く、次いで「自営業」が 19.2%、「パート」が 15.4%である。
- 性別で見ると、男性は「正規の職員・従業員」が 69.0%と最も多く、次いで「自営業」が 15.5%、「契約社員・嘱託」が 8.3%である。女性は「正規の職員・従業員」が 37.9%と最も多く、次いで「パート」が 20.7%、「契約社員・嘱託」が 19.0%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「正規の職員・従業員」が 52.2%と最も多く、次いで「契約社員・嘱託」と「自営業」がそれぞれ 13.0%である。親とのみ同居世帯は「正規の職員・従業員」が 67.9%と最も多く、次いで「自営業」が 14.3%、「契約社員・嘱託」が 10.7%である。その他世帯は「正規の職員・従業員」が 54.4%と最も多く、次いで「契約社員・嘱託」と「自営業」がそれぞれ 13.3%である。

図表 224 主な仕事の就業形態；障害種別

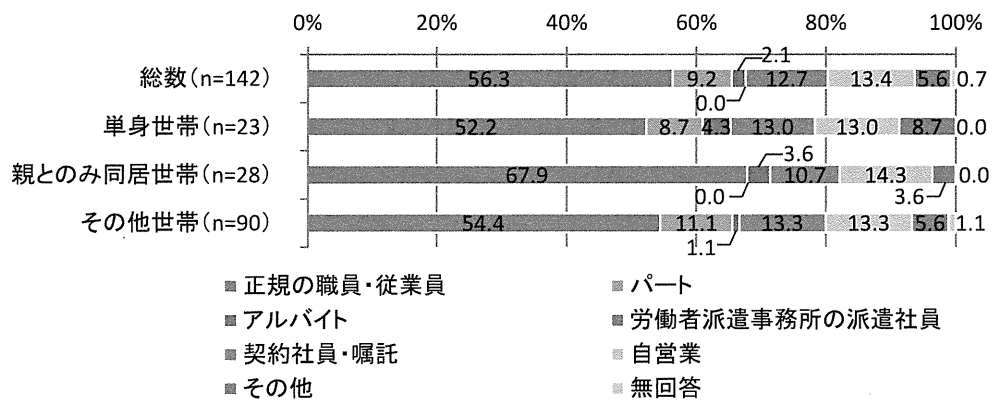


図表 225 主な仕事の就業形態；性別



P<0.01\*\*

図表 226 主な仕事の就業形態；世帯類型別



図表 227 主な仕事の就業形態；7. その他

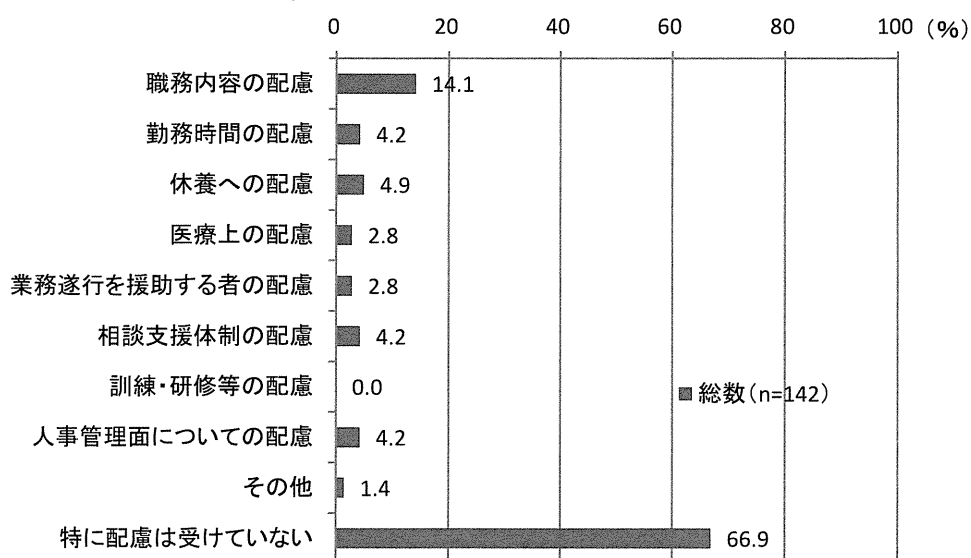
・パート
・ほとんどボランティアの様な仕事
・賃貸業
・内職
・請負
・家族の会社
・日雇い
・盲ろう者介助、通訳ガイド

### ③勤務先での配慮

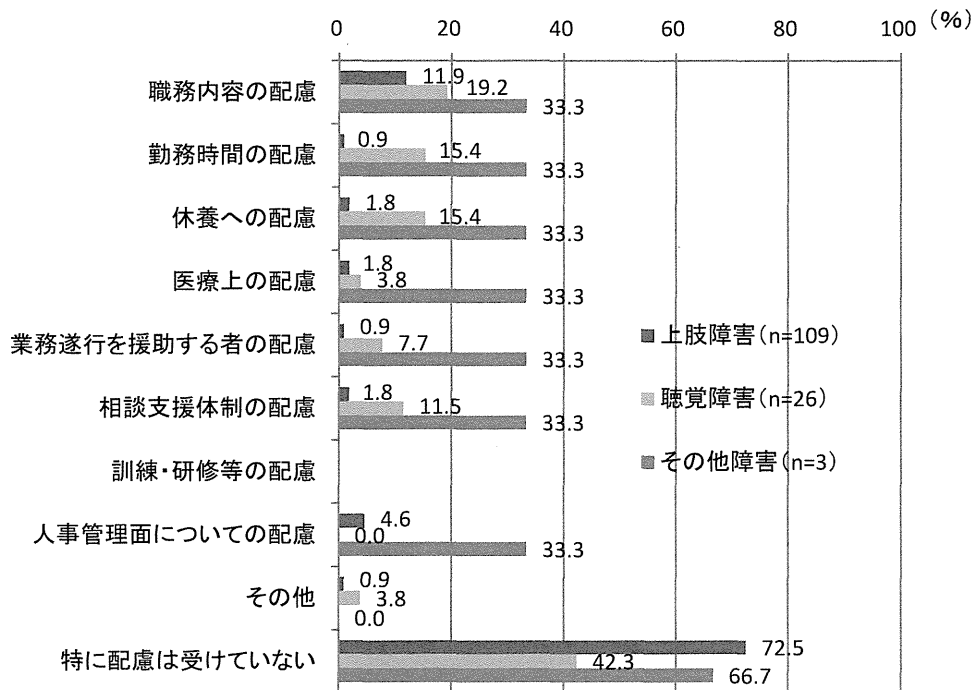
(3) 勤務先で配慮を受けている事項があれば記入してください (〇はいくつでも)。

- 勤務先で配慮を受けている事項について、全体で見ると、「特に配慮は受けていない」が66.9%と最も多い。配慮を受けている場合の具体的な内容は「職務内容の配慮」が14.1%と最も多い。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「特に配慮は受けていない」が72.5%と最も多く、次いで「職務内容の配慮」が11.9%である。聴覚障害は「特に配慮は受けていない」が42.3%と最も多く、次いで「職務内容の配慮」が19.2%、「勤務時間の配慮」と「休養への配慮」がそれぞれ15.4%である。
- 性別で見ると、男性は「特に配慮は受けていない」が63.1%と最も多く、次いで「職務内容の配慮」が17.9%である。女性は「特に配慮は受けていない」が72.4%と最も多く、次いで「職務内容の配慮」が8.6%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「特に配慮は受けていない」が60.9%と最も多く、次いで「職務内容の配慮」が17.4%である。親とのみ同居世帯は「特に配慮は受けていない」が60.7%と最も多く、次いで「職務内容の配慮」が21.4%である。その他世帯は「特に配慮は受けていない」が70.0%と最も多く、次いで「職務内容の配慮」が11.1%である。

○  
図表 228 勤務先での配慮；全体（複数回答）

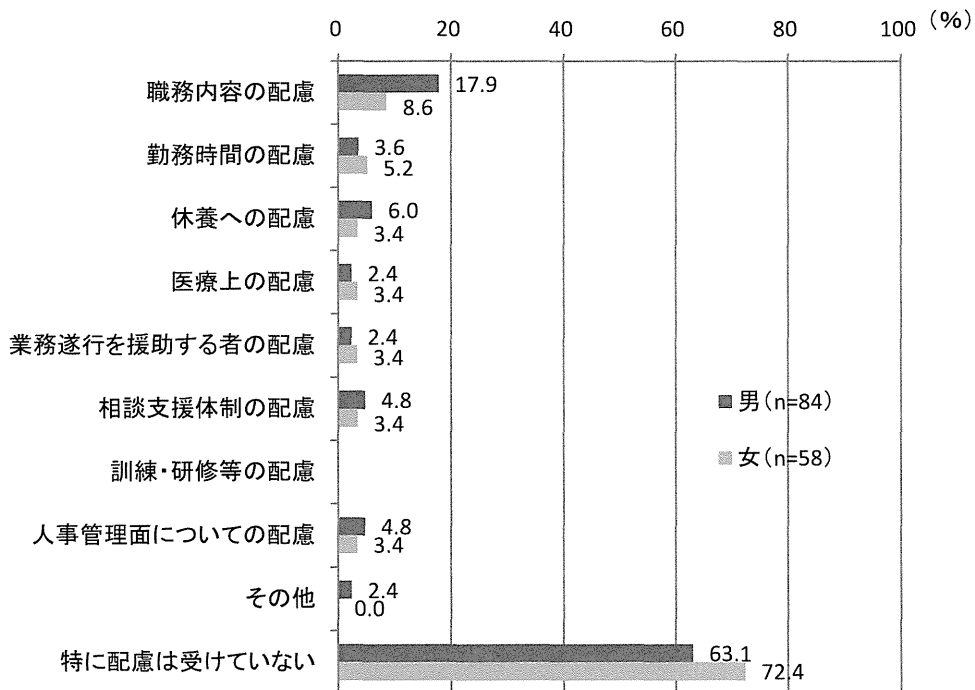


図表 229 勤務先での配慮；障害種別（複数回答）



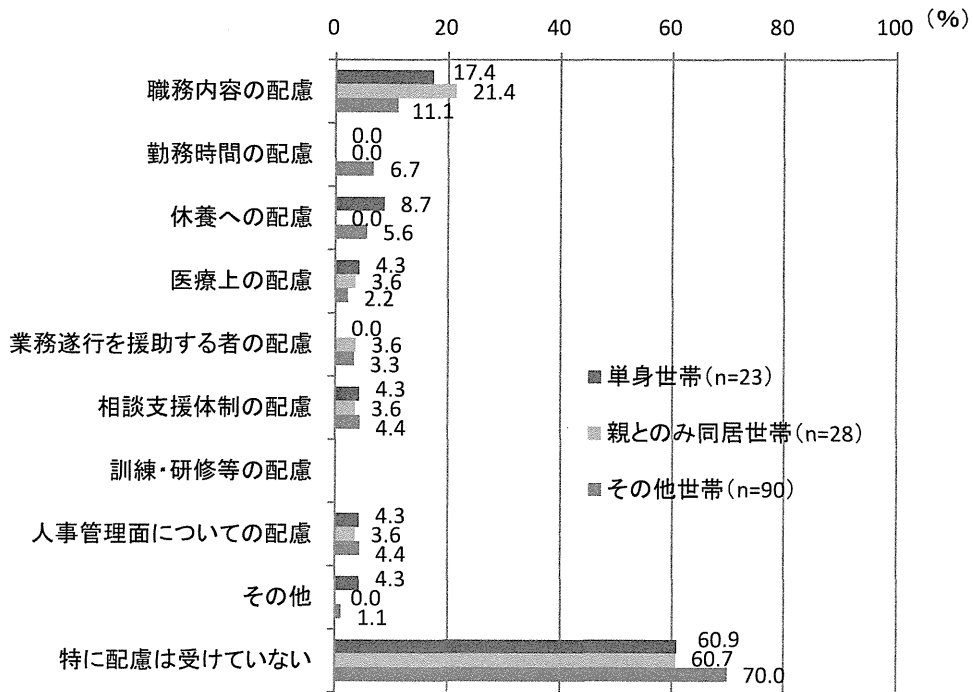
P<0.01 \*\*

図表 230 勤務先での配慮；性別（複数回答）





図表 231 勤務先での配慮；世帯類型別（複数回答）



図表 232 勤務先での配慮；9. その他

・個人専用のノート PC を通常使用以外に準備してもらっている。

#### ④仕事について不便なこと、不安なこと等

(4)仕事について、不便なこと、不安なこと等があれば、具体的に記入してください。

図表 233 仕事上の不便・不安

・(3)の1. 4.
・聴き取りづらい
・この3ヶ月捻挫をして歩く仕事なのでやめたいなあって思いながら仕事に行っています。捻挫が良くなれば普通に歩く事ができるので、もう少し仕事した方が良いのか考えているところですよ
・昇給が他の人より遅れている(止まっている?)
・現在のスキルレベルより若干上のレベルを求められ、うまく結果が出せない時がある
・今眼が悪いので、パソコン等の眼を使う作業がしづらい
・施設の方で配慮して頂いている
・手などを痛めている場合はその仕事をさける等
・重い物などを持ってない
・長い距離歩行することが困難
・上記の点より、その様な仕事をする場合は一人では作業できない点
・手がしびれるのでこの先美容師を続けられるか心配
・通勤途中で下痢をしないかが一番心配。仕事でも突然の腹痛にならないかが不安です
・股関節が痛くなると休んでいます。週1回にしてもらっているのでは今はこれくらいがよいです
・歩行困難・長時間立ってられない、排尿困難でオムツをしている為に不安であるので、仕事をしたいがなかなかその機会にめぐまれない
・白内障手術(右眼)で眼内レンズを遠くに合わせた為、老眼用のメガネが必要で仕事から、度の違うのを3~4個揃えています。もともとサリドマイドの関係で左眼は視力が低く、正常の右眼の白内障手術によりメガネが必要となって、以前より疲れがひどくなりました
・今の職場に就職して3ヶ月過ぎました。私だけではなく皆給料が安い。収入の面で不安になる
・どこにでもある事だが、人間関係で悩んでいる。しかし同じ思いの人もいるので、メールや必要に応じてお茶を行い気分転換もしているのでそれほど心配はしていない
・力仕事は体力的に大変なので、若い職員に頼む事になっている。頼む時も明るく「よろしくね」と声をかけている
・これから加齢に伴い、体力や身体的機能(手足)が続くのが不安
・不便なことはスムーズにコミュニケーションができないことですね。口話か筆談です。不安なのはいつまで働けるか。60歳過ぎまで働きたいんですけど会社からどう言われるかわからないですね
・力仕事ができない(重い物がもてない)
・サリドマイドで親指が健常者の1.5倍ほど長い為(その他の指は長くない)、合うラボグローブがない。故に長時間ラボグローブをはめているので、親指が圧迫され指の関節炎で痛く、動かなくなってきた。動かないと仕事にならない。
・職場に手話の出来る人が一人もいません。
・30年勤務しているが、自分だけが昇格がないので不安である。
・若干の難聴から加齢による聞こえの悪さが増し、職場でのコミュニケーションでも支障有り。(上司、周辺職員へは説明済みで理解は得ている。)
・休暇が取れない
・残業が多い
・体が疲れる
・人間関係
・現在の職業は1年契約で、毎年更新することが出来たが、来年度から更新されず、無職になる。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・サリドマイド=金持ちと言われる事</li> <li>・難聴なのに都合の時しか聞こえないと「セクハラ」された事。補聴器があっても完全に聞こえるわけではない。</li> <li>・視野が狭い事、普通に見えると思われている事（過去に上司にセクハラされた）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は言語習得期の前に失調している為（先天性ろう）、コミュニケーションにおいて相当の困難さと不便を抱えています。例えば上司や同僚とのコミュニケーションの時、話の内容が十分に理解出来ないことがあったり、仕事に関する情報が私の耳に入らないことが多い為、困る事が多いです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手が短い為パソコンで前かがみになるので、肩こり腰痛になりやすい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様とのコミュニケーションが伝わらない事もあるが、めんどくさいので無口にする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人タクシーをしています。左耳が聞こえないので客とのやりとりはかなり神経を使い、ストレス！！眼球の運動障害により視野が狭く運転には気を使います。同じ仕事仲間と比べて疲れやすく、同じようなペースで仕事をするとすぐ体調をくずします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事について収入も得たいが、手に職もなくこの齢になると事務の仕事が見つからない。やはり、手が悪いと現場、サービス業も難しいのが現実。家でパソコン入力の仕事をしているが、なかなか仕事が回ってこない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高い場所にある物は、台を使ったり、人に頼んだりして取ってもらう。</li> <li>・コピー機に小さい用紙をコピーする時、ガラス面の角が遠くて困る。</li> <li>・パソコンのキーボードは体に近づけないと打てないので、資料を置く場所などに困る。</li> <li>・ホッチキスは握れないので机の上に置いて、紙を挟んで押す。</li> <li>・握力が無い（親指が無い）のと、指も曲がりにくいので、物を掴みにくい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・立ち仕事が出来ない</li> <li>・目が悪いのでパソコン等がしんどい</li> <li>・小さい字で書かれている文章を読むのが苦痛</li> <li>・パソコンで読むと何度も同じ所を読んでしまう</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主にPCの作業であるが、手書き作業が0ではない。少量でも負担が大きい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多勢の人の前に出なければならぬ仕事なので心理的な不安がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務仕事なのであまり力は使わなくて良いです。しかしパソコンを使う仕事が多い為目が疲れやすく肩等こります。年をとってくると若い頃と違い回復も遅いです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・話が聞きづらい。電話を受けるのが苦手。大事なことが聞こえない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年前から手、肩の筋力の低下、痛みがあり、これまで通りの仕事が出来なくなり退職した。今も引き続き痛みがあり、仕事の選択にも躊躇している。若い頃のように、少々の無理がきかなくなったが、このまま失業だと収入面で不安がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は外見の障害が少ない為、社会に入りやすい分配慮を受けるのが大変である。元々残業が多い為、現在は朝フレックス通勤をしている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場はほとんど健聴者なのでコミュニケーションがうまくいかない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長くPCに向かっていると肩、腰が痛くなる。時々作業が遅いと上司に言われ、リストラにあうかと不安になる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・口話、身振りによるコミで大丈夫。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・左耳が聞こえないので、人の会話が聞き取りにくいので色々な事で困っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション問題</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・腰、右肘の痛みの為、仕事上重い物が持てない。重機等の操作に支障が出る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近パソコンへの入力の作業が多い為、紙にペン等で記入することを求められることが少ないが、そのような作業がある場合は手のしびれにより支障が発生する。今このアンケートの記入もそろそろ限界。</li> </ul>

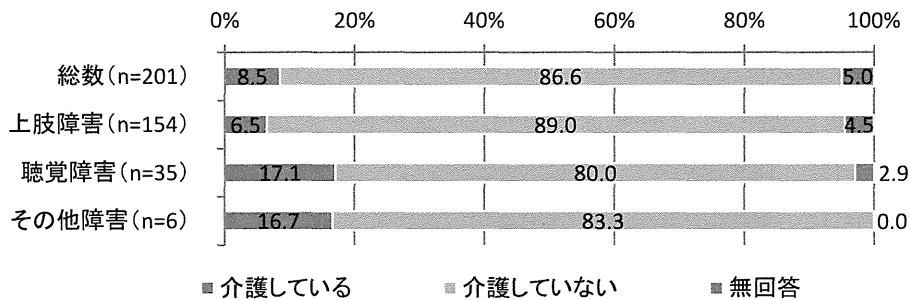
## 7. 家族の状況

### (1) 家族の介護の状況

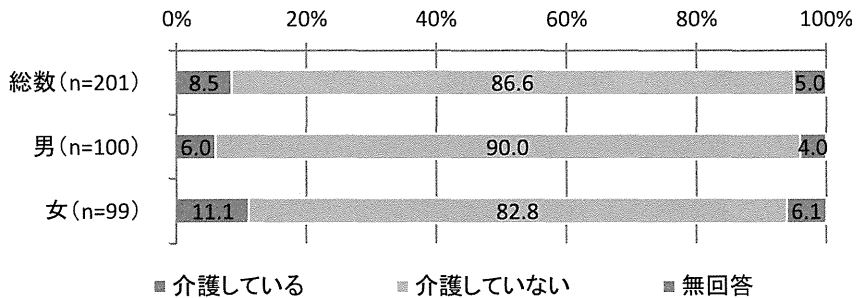
問1 あなたは、現在ご家族どなたかの介護をしていますか。(同居の有無、続柄は問いません)

- 現在家族の介護をしているかについて、全体で見ると、8.5%が「介護している」と答えている。
- 障害種別で見ると、上肢障害は6.5%、聴覚障害は17.1%が「介護している」と答えている。
- 性別で見ると、男性は6.0%、女性では11.1%が「介護している」と答えている。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は10.0%、親とのみ同居世帯は15.6%、その他世帯は5.6%が「介護している」と答えている。

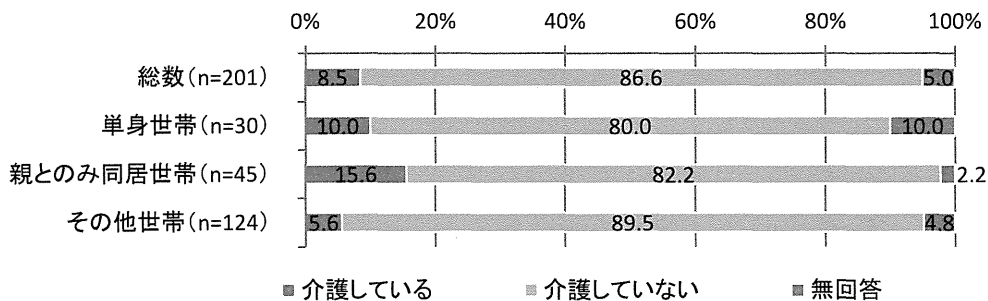
図表 234 家族の介護の有無；障害種別



図表 235 家族の介護の有無；性別



図表 236 家族の介護の有無；世帯類型別



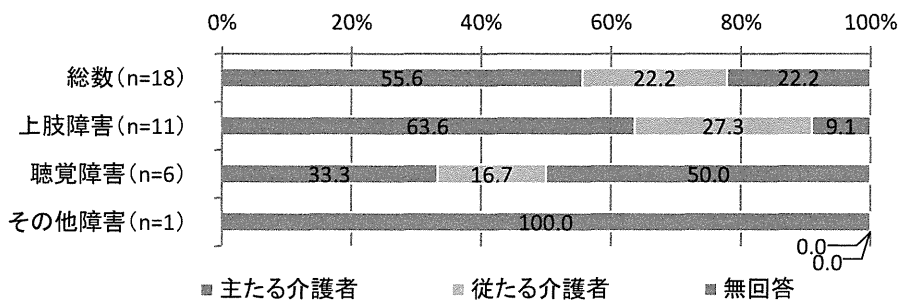
## ①具体的な介護の状況

【「1介護している」と答えた方にうかがいます。】

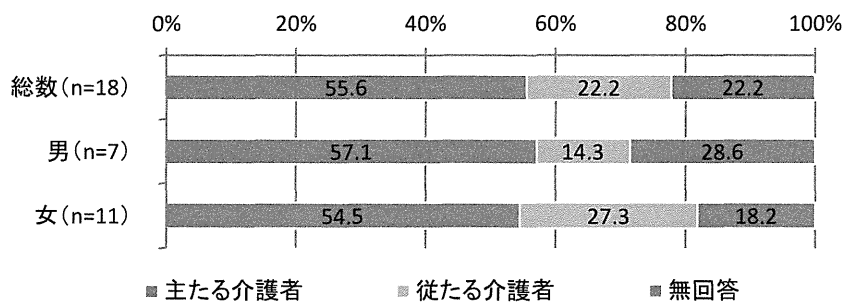
(1) 具体的にどなたの介護をしているか、差し支えない範囲で記入してください。

- 介護へのかかわりについて、全体で見ると、「主たる介護者」が55.6%、「従たる介護者」が22.2%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「主たる介護者」が63.6%、「従たる介護者」が27.3%である。聴覚障害は「主たる介護者」が33.3%、「従たる介護者」が16.7%（1人）となっている。
- 性別で見ると、男性は「主たる介護者」が57.1%、「従たる介護者」が14.3%である。女性は「主たる介護者」が54.5%、「従たる介護者」が27.3%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「主たる介護者」が50.0%、「従たる介護者」が25.0%（1人）である。親とのみ同居世帯は「主たる介護者」が57.1%、「従たる介護者」が28.6%である。その他世帯は「主たる介護者」が57.1%、「従たる介護者」が14.3%である。

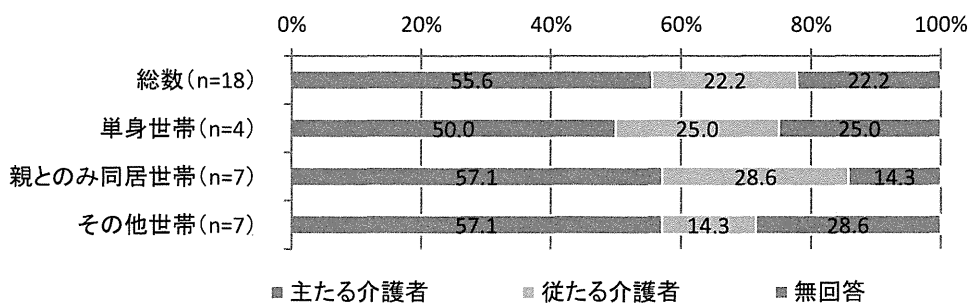
図表 237 介護へのかかわり；障害種別



図表 238 介護へのかかわり；性別

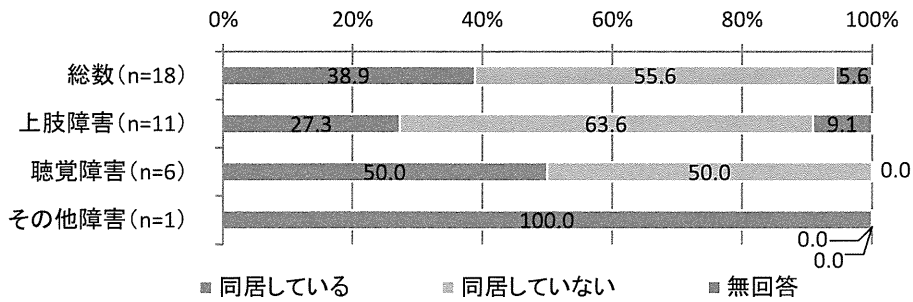


図表 239 介護へのかかわり；世帯類型別

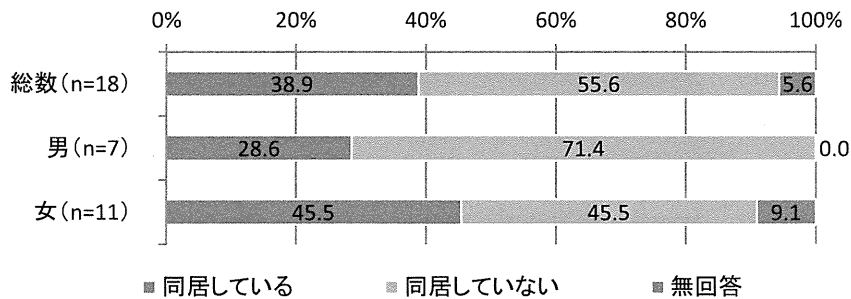


- 要介護者との同居の有無について、全体で見ると、「同居している」が38.9%、「同居していない」が55.6%である。

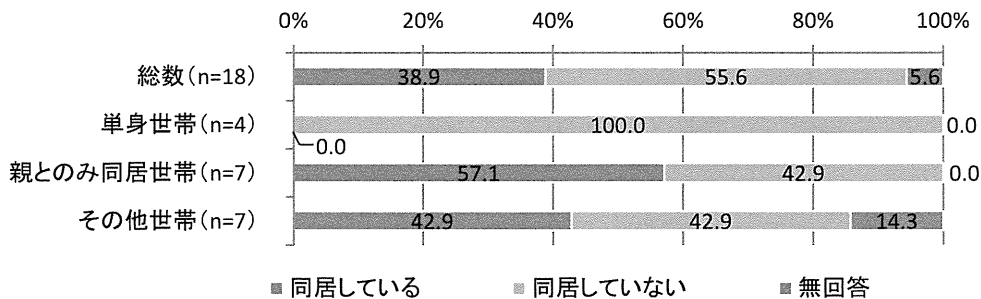
図表 240 要介護者との同居の有無；障害種別



図表 241 要介護者との同居の有無；性別

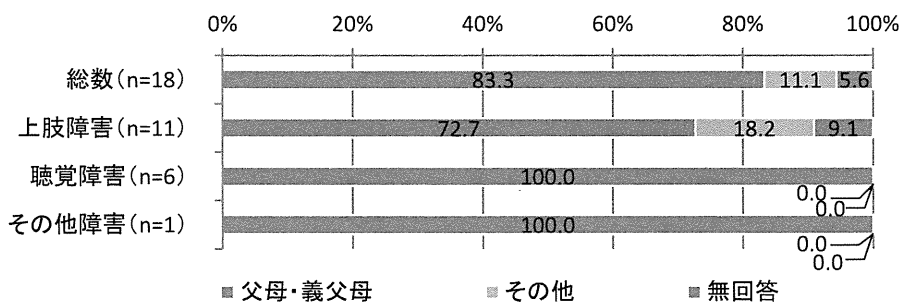


図表 242 要介護者との同居の有無；世帯類型別

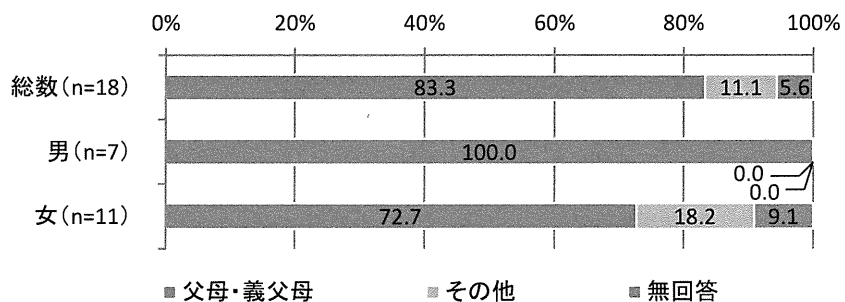


○要介護者との続柄について、全体で見ると、「父母・義父母」が83.3%である。

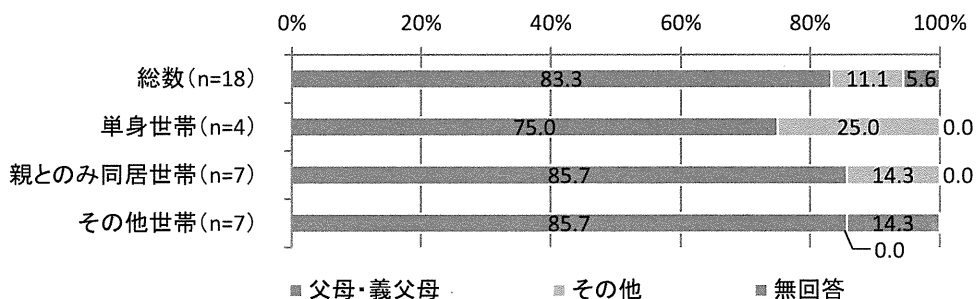
図表 243 要介護者との続柄；障害種別



図表 244 要介護者との続柄；性別

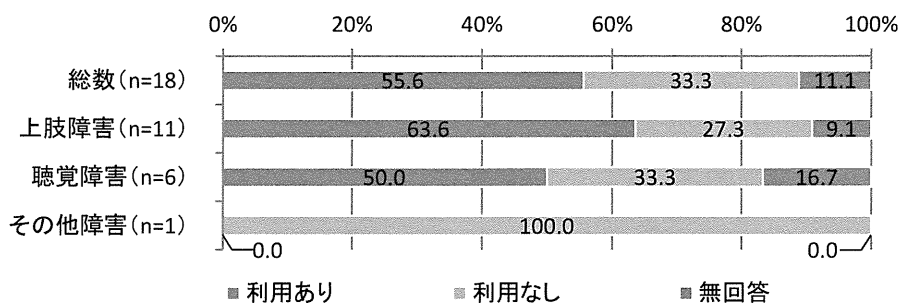


図表 245 要介護者との続柄；世帯類型別

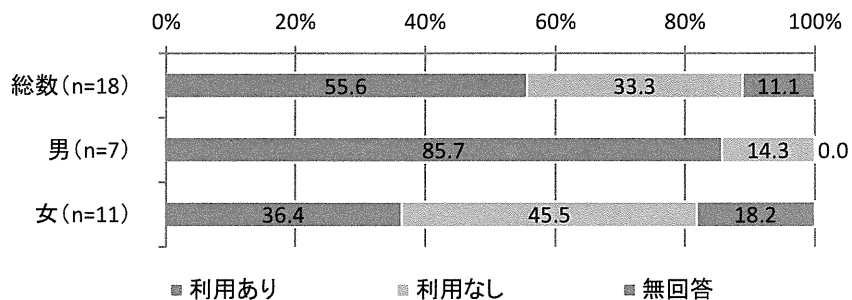


○介護保険利用の有無について、全体で見ると、「利用あり」が55.6%、「利用なし」が33.3%である。

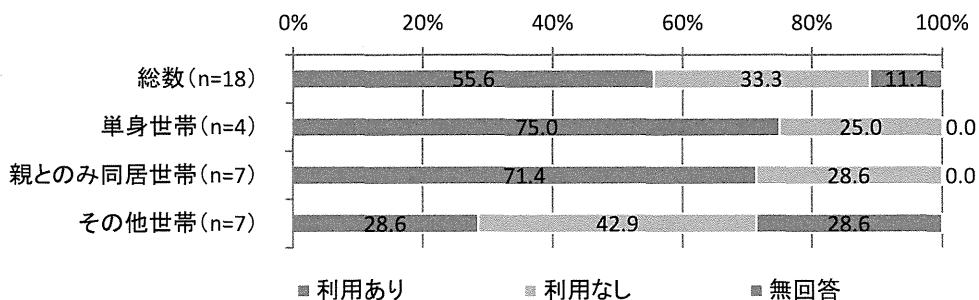
図表 246 介護保険利用の有無；障害種別



図表 247 介護保険利用の有無；性別

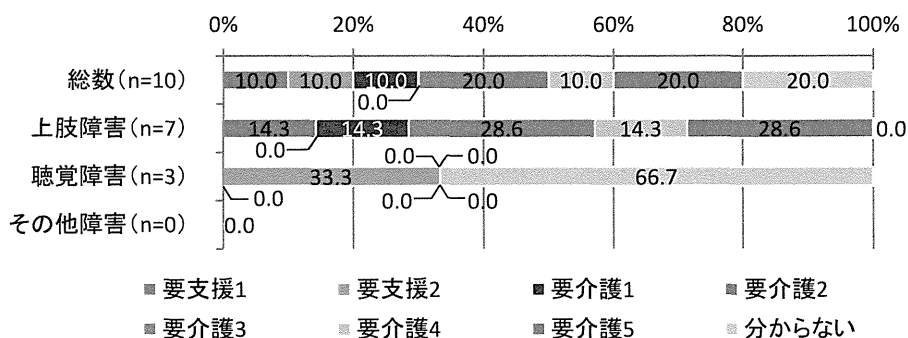


図表 248 介護保険利用の有無；世帯類型別

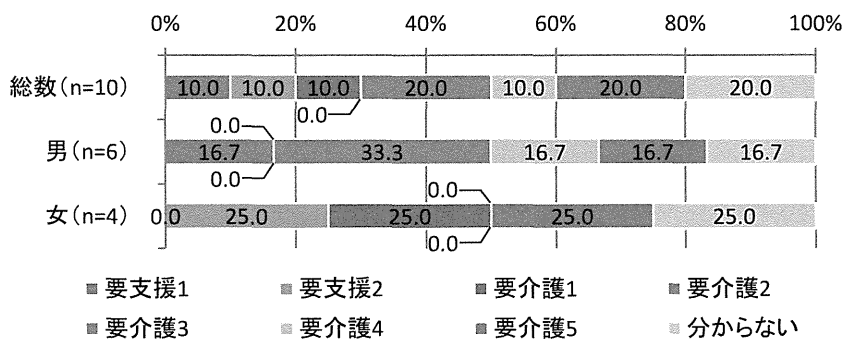


○介護保険利用ありの場合の要介護度について、全体で見ると、「要介護 3」、「要介護 5」、「分からない」がそれぞれ 20.0%、「要支援 1」、「要支援 2」、「要介護 1」、「要介護 4」がそれぞれ 10.0%である。

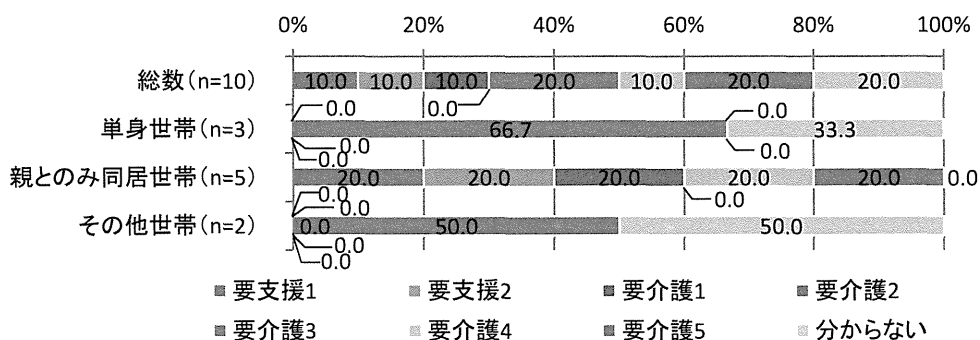
図表 249 【介護保険利用ありの場合】要介護度；障害種別



図表 250 【介護保険利用ありの場合】要介護度；性別



図表 251 【介護保険利用ありの場合】要介護度；世帯類型別





- (2) 介護をする上で、不便なこと、困っていること、不安なこと等があれば、具体的に記入してください。

図表 252 介護上の、不便・困っていること・不安等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当は介護しなければならないが、環境のためできない状態である</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことぐらひは自分でしてくれるので、介護というわけではないが、私自身股関節脱臼で腰が悪いので外出の介護がづらい（家では押し車を使うのが外ではかっこ悪がるため）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力の限界が今後の不安</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・父が遠方にいる時、すぐに行く事ができない。現在父は頸椎の手術を受け、リハビリ病棟に入院中。退院に向けてリハビリを行っているが、退院した後一人暮らしになってしまう。私達（主人と私）が帰る事も考えたが、仕事や生活する上での便利さを考えると実家に戻れない。父を一人暮らしさせられないが、帰れない。それが一番困っている事である</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、遠方の実家に父親が（85歳）一人で住んでおり、入院中です（腸閉塞）。遠方の姉が帰省して付き添ってくれたりはしてくれていますが、姉に負担をかけてばかりの状態です。入院する前には要介護認定を受けて、地域の支援センターやヘルパーさんをお願いしてなんとか一人暮らしをがんばってもらっていますが、病気の際はやはり自分の無力さを感じています。父の年齢も高く心配しています</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護者ではないが、父と同居しています。父は体調が悪いと言っていますが、食欲がまああります。家にずっといてあまり外へ出ないのです。病院だけは一人で行っています。ごはんは作れないので（甘えている）私がつけてあげています。風呂もあまり入らずうるさく言っています。風呂もトイレも自分でできるのです。ディケアサービスでも受けたらと父にすすめています、嫌がっています</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今入院中の父親が一級障害者になったので、退院して実家に戻ってきた時に、どのように介護していいかわからなくて不安です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日の時間（8：30～18：00）にヘルパーが呼べない（同居の為）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通院等昇降介助利用にあたってケアマネと業者の連携で土日になりたいが仕事をしていると不便。</li> <li>・医師にうまく話せない為に手紙やリハの先生に話し、父←本人が納得いくまで話をする。</li> <li>・介護保険のルールがもっとわかるように出来ないかと思う。書類が欲しい。</li> <li>・風呂は見守り</li> <li>・便のもらしの対応</li> <li>・ベッドの見回りチェック</li> <li>・書類を書く時に指示して書かせる。</li> <li>・着替えは工夫して本人にさせています。（尿とりパンツ、首の広いシャツ等）</li> <li>・朝話したことをその日によっても覚えていない為こまめに話している。</li> <li>・出来る事をさせ、必要である事を言い、自分の仕事をする意を持たせています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が若い年齢で母親に介護してもらっていることがづらい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護と言えるほどの事はしていませんが、実母が3年程前に腰の圧迫骨折をして以来（今では身の回りの事は出来る様になった）家事や病院の付添など、一週間に2、3日程度行っています。自分自身も体が弱く、筋肉もなく、腰にヘルニアをかかえているので、正直きつい時があります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護ではなく、介助くらいな感じなので、今は保険は利用していません。母が初期のアルツハイマーの為付きっきりに近い感じです。（同居）今後悪くなる一方なので全体的に不安、母本人は病気を認めず、他に介助や介護をしてくれる人もいない為、困っています。仕事に行きたくても行かれません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・義母にグループホームに入ってもらっている。私が体調がよく、痛みがなければ介護も出来ただろうと申し訳なく思う事がある。</li> </ul>

<p>・義母が認知症で老健へ入所中です。週 2 回、義姉と交代で通っています。(洗濯物の回収と様子を見る為) 容体が悪化すると総合病院へ介護施設から転院したり、通院する時介助が必要で、リクライニング車椅子を押して総合病院内の移動や、荷物を持って動くのに大変な時がある。肩や手が痛くても、車を運転して行かないといけないし、義姉の手前、メイン介護者として気がかりが多い。</p>
<p>・実母ですが去年 12 月 4 日に心肺停止で、心臓に CRT-D という物体が入っています。(76 歳)</p>
<p>・自分が障がい者で作業動作がしにくいのに、何を手助けするにしろ細部まできちんと出来ない。</p>

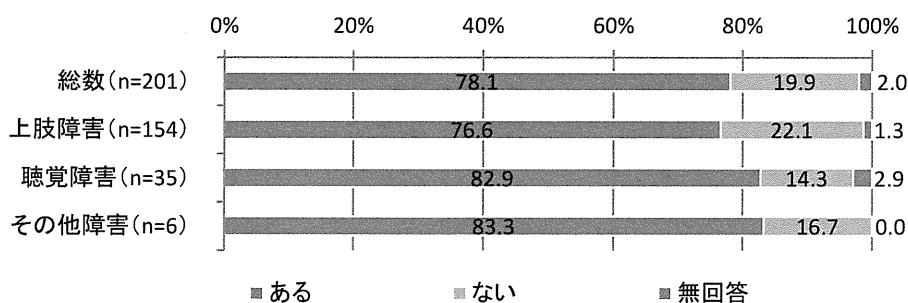
## 8. 生活上の悩みや困っていること

### (1) 生活上の悩みやストレスの状況

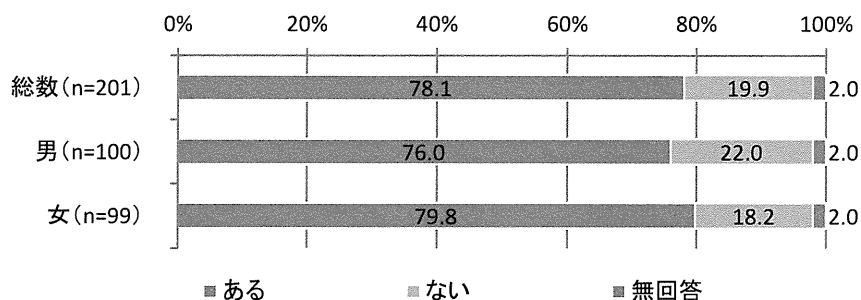
問1 あなたは現在、生活上で悩みやストレスがありますか。

- 生活上の悩みやストレスの有無について、全体で見ると、78.1%が「ある」と答えている。
- 障害種別で見ると、上肢障害は76.6%、聴覚障害は82.9%が「ある」と答えている。
- 性別で見ると、男性は76.0%、女性は79.8%が「ある」と答えている。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は83.3%、親とのみ同居世帯は82.2%、その他世帯は75.0%が「ある」と答えている。

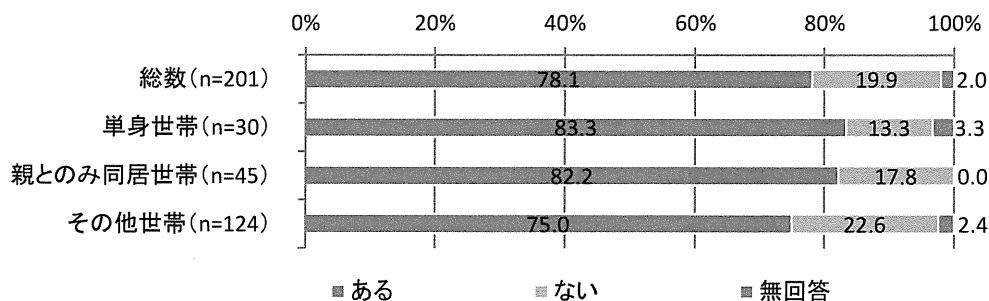
図表 253 生活上の悩みやストレスの有無；障害種別



図表 254 生活上の悩みやストレスの有無；性別



図表 255 生活上の悩みやストレスの有無；世帯類型別



## ①悩みやストレスの内容

【「1 悩みやストレスがある」と答えた方にうかがいます。】

(1) 悩みやストレスを感じているのはどのようなことについてですか (〇はいくつでも)。

- どのようなことに悩みやストレスを感じているかについて、全体で見ると、「自分の健康」が72.0%と最も多く、次いで「老後の生活設計」が52.9%、「家族の健康」が41.4%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害「は自分の健康」が71.2%と最も多く、次いで「老後の生活設計」が54.2%、「今後の収入や資産の見通し」が40.7%である。聴覚障害は「自分の健康」が75.9%と最も多く、次いで「老後の生活設計」が55.2%、「家族の健康」が41.4%である。
- 性別で見ると、男性は「自分の健康」が72.4%と最も多く、次いで「老後の生活設計」が42.1%、「家族の健康」が40.8%である。女性は「自分の健康」が70.9%と最も多く、次いで「老後の生活設計」が62.0%、「家族の健康」が41.8%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「自分の健康」と「老後の生活設計」がそれぞれ64.0%と最も多く、次いで「今後の収入や資産の見通し」が32.0%である。親とのみ同居世帯は「自分の健康」が75.7%と最も多く、次いで「家族の健康」が56.8%、「老後の生活設計」が51.4%である。その他世帯は「自分の健康」が72.0%と最も多く、次いで「老後の生活設計」が50.5%、「今後の収入や資産の見通し」が40.9%である。

図表 256 悩みやストレスの内容；全体（複数回答）

